

野菜の生育状況及び価格見通し（平成27年5月）について
（東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）


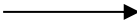






（総論）









品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	5月の出荷分の生育状況は、概ね順調。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	5月前半の出荷分の生育状況は、4月上中旬の記録的な日照不足の影響を受けているものの回復基調で推移。 5月後半の出荷分の生育状況は、概ね順調。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	5月前半の出荷分の生育状況は、4月上中旬の記録的な日照不足により生育遅延は回復していない。 気象が平年並みに推移すれば、5月後半の出荷分の生育は回復する見込み。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	ばれいしょ、さといもでは、4月上中旬の記録的な日照不足の影響を受けているものの回復基調で推移。

（各論）

品 目	主 産 地 (※ ()書きは 昨年5月の入荷 シェア。)	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価 格 見 通 し (平年比)	
			5 月 前 半	5 月 後 半
だ い こ ん	千 葉 (81%) 茨 城 (12%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地では、<u>1月下旬の降雨により4月出荷見込み数量の1割相当分の播種作業ができなかったことから、出荷量が少なくなり4月は高値価格で推移。5月に入っても、この影響が若干残り、前半は、平年よりも高い価格で推移する見込み。</u> <u>5月後半の出荷分は、生育が概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 	↗	→

にんじん	徳島(67%) 千葉(23%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みになる見込み。</u> 	→	→
はくさい	茨城(96%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地では、<u>昨年12月から2月に出荷したはくさいの価格低下により、本年4月から5月上旬に出荷するはくさいの作付面積が減少したこと</u>から、<u>5月前半にあっても、出荷数量が平年を下回るため、価格は引き続き、平年を上回る見込み。</u> <u>5月後半の出荷分は、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 	↗	→
キャベツ	千葉(42%) 神奈川(30%)	<ul style="list-style-type: none"> 一部の主産地では、<u>3月下旬の良好な天候により計画よりも出荷が前進したことに加え、4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により4月下旬の出荷数量が減少したこと</u>で、<u>価格は高値で推移しており、5月に入っても、この傾向で推移するものと見込まれ、前半は、平年よりも高い価格で推移する見込み。</u>なお、生育は回復基調で推移。 <u>5月後半の出荷は、生育が概ね順調であることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u>ただし、5月後半の出荷分は、<u>産地が切り替わる時期でもあり、産地の切り替わりが順調に進むことを留意する必要がある。</u> 	↗	→
ほうれんそう	群馬(34%) 茨城(30%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における<u>4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、引き続き5月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> <u>5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 	↗	→

ねぎ	茨城(32%) 千葉(26%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における4月上中旬の記録的な日照不足に伴う病害の発生等により、品質低下が見られ、4月は高値価格で推移。5月に入っても、この影響が若干残り、前半は、平年よりもやや高い価格で推移する見込み。なお、生育は回復基調で推移。 5月後半の出荷分は、生育が概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。 		
レタス	茨城(40%) 長野(28%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地の一部(西日本)で日照不足や降雨の影響で品質低下となったことから、出荷量が少なくなり4月は高値価格で推移。5月に入っても、この影響が若干残り、前半は、平年よりも高い価格で推移する見込み。なお、生育は回復基調で推移。 5月後半からは、産地が切り替わるが、これらの主産地は、生育が概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。 		
きゅうり	埼玉(23%) 群馬(20%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、引き続き5月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。 5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。 		
なす	高知(46%) 福岡(21%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、引き続き5月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。 5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。 		

トマト	熊本(24%) 栃木(21%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、引き続き5月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。 5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 		
ピーマン	茨城(66%) 宮崎(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地における4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、引き続き5月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。 5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 		
ばれいしょ	長崎(46%) 鹿児島(33%)	<ul style="list-style-type: none"> 九州の主産地では、4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、4月の出荷量が少なくなり4月は高値価格で推移。生育は、回復基調で推移しているものの、5月に入っても、この影響が若干残り、前半は、平年よりも高い価格で推移する見込み。 5月後半は、生育も回復すると見込まれるので、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 		
さといも	埼玉(35%) 千葉(29%)	<ul style="list-style-type: none"> 九州の主産地では、4月上中旬の記録的な日照不足に伴う生育遅延により、4月の出荷量が少なくなり4月は高値価格で推移。 今後、九州の主産地の生育も回復すると見込まれるので、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。</u> 		
たまねぎ	佐賀(62%) 兵庫(8%)	<ul style="list-style-type: none"> たまねぎは、3月から4月末まで、ほぼ平年並みの安定した価格で推移しており、九州の主産地では、順調に収穫作業が進んでおり、安定した出荷が見込まれることから、5月にあっても、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並みに推移する見込み。</u> 	